

見上げた空がクリーンであるよう 今できる一粒の種をまこう

しながわ ECOだより

品川区環境情報活動センターだより

2013年度 Vol.2

今年も 小学生が夏休みに 環境をテーマとした勉強と実験、工作 を楽しみました

生きもの博士になろう 7月21,28,29日

(環境情報活動センター、しながわ中央公園)

講師：NPO法人生態教育センター 佐藤真人氏、河野慶子氏

①みる、きく、さわる…！ 五感で自然遊び

葉っぱの形の違いを観察し、さわったり、ニオイをかぎ分けたりしてそれぞれの特徴を学びました。

公園で摘ませていただいたハーブ



(ローズマリー)を使って石けんを作りました。

②遊んで発見！植物の魅力

公園の葉っぱを観察し、植物探しのビンゴゲームを行いました。植物について楽しく学ぶとともに、葉っぱのスタンプでエコバック作りをしました。



③生きものに挑戦！

アリは、食べ物を巣に運ぶときなどは、ニオイをもとに移動します。アリのようにニオイをもとに目的地に移動するゲーム

を行いました。葉っぱや小枝を使って昆虫カードを作りました。



キッチンからはじめるエコロジー

地球にやさしい旬の料理をつくろう！

8月7,8,9日(きゅりあん調理講習室)

指導：東京ガス株式会社中央支店

エコクッキングインストラクターのみなさん

講師による「買物→料理→片付け」に至る一連の流れと調理の際のエコポイントについての説明の後、早速調理にかかりました。



今日の料理は、
＜おやき＞＜カラフルベジ
スープ＞＜焼きおにぎり＞
＜ミルクーいちご白玉＞の4
品と盛りだくさんでした。



調理の際のエコポイントをおさらいしましょう。

・旬の食材を買う・無駄なく使う・生ゴミを濡らさない・ガスの火はナベ底をはみ出さない・ナベ蓋をする・チラシをごみ入れとして使用する・汚れた皿は古布で拭いてから洗う……

環境自由研究フェア開催(小学生と保護者) 8月18日



夏休みの自由研究の参考になる本やセンター保有の実験器具、過去の講座での製作物を紹介。実際に手で触れて頂きました。

空気砲、雲発生実験器やペットボトルでの雲作り、不思議な噴水、牛乳パックで作ったびっくり箱などが興味を持たれていました。



こんな講座を開催しました 平成25年6～9月

知って得するLED照明を使ってみよう

(一般) 6月16日

LED照明推進協議会広報委員長 小宮章利氏

LED照明について学んだ後、LED電球やシーリングライトのお得度の計算をしたり、LEDキーホルダーを小さな十字ドライバーを使って分解しました。またLED照明への切り替えのポイントと注意、そのタイミングについて知ることができ、大変参考になったとの声がありました。



牛乳パックとペットボトルを使って不思議な噴水を作ろう

(小学生と保護者) 7月14日

蔵前理科教室ふしぎ不思議 小林正延氏

上の皿に注いだ水が下のペットボトルの中へ落ちると、下のペットボトル内の空気圧が、ゴム管を通り上のペットボトルへ伝わり、その圧力で上のペットボトルの水が噴き出す仕組みです。噴き出した水は皿に落ち、また下のペットボトルへ流れるので、噴水が出続ける…というわけです。



手回し発電機での発電実験と簡易モーター作り

(小学生と保護者) 6月23日

クリーンエネルギー江東・事務局長 山下浩三氏

電気を作ることの大変さを手回し発電機で体験した後、簡易モーター作りに挑戦しました。実験や工作を通して電気



の大切さを学び、節電を考えるきっかけになったと思います。

間伐材を使って楽しい工作をしよう

(小学生低学年と保護者) 8月11日

榊樹楽製作所マネジャー 佐々木重孝氏

森と動物と私たちの間には深いかわりがあることや、適度に木を切ること(間伐)の必要性を学んだ後、のこぎりを使って木を切りました。積み木を使ったゲームをグループに分かれて行い、大いに盛り上がりました。帰りには積み木のプレゼントもありました。



夏休みに向けて「自然に親しむ」達人になろう

(小学生と保護者) 6月30日

環境省環境カウンセラー 倉田智子氏

身近にある自然の観察について学びました。樹木一本でも季節や、一日のうちでの時間のずれで、別の光景を見つ



けることができます。植物の「花が咲く→実る→芽を出す」という経過も、観察の要素です。

つる植物を使って、五感で観察する方法を体験しレポートの書き方も教わりました。

段ボールおもしろ教室

(小学生と保護者) 8月23日

レンゴ(株)包装技術部 牧内隆文氏、岸広幸氏

段ボールのリサイクル率はなんと98%、リサイクルの優等生ですね。段ボールの特徴・作り方についてクイズを交えて学びました。また段ボールを組み立てておもちゃ箱にもなる椅子やカバンを作りました。



新エネルギーの現状と今後 (一般) 7月7日

日本国際戦略問題研究所所長 津田慶治氏

今後のエネルギー源のあり方が大きな問題となっている昨今、期待される新しいエネルギーとその実現に向けての難しさ、その一方で明るい見通しなど、分かり易くお話して頂きました。



昭和シェル石油(株) 雪国型メガソーラー発電所

台風と地球温暖化

(一般) 9月8日

気象予報士 大島正幸氏

雲って何? どうしてできるか? 台風とは? どうして日本に向かってくるのかなど、日頃の疑問が解けました。また地球温暖化との関係を学ぶとともに、その最新情報も聞きました。



私たちの活動紹介 古布の七変化～洋服から小物まで～

私たちのグループ「リメイク絆」は、「箆笥の肥やし」になっている洋服、着物等を利用してコートやバッグなどを作っています。

「箆笥の肥やし」は思いのほか多くあり、いずれも父母や祖父母の思い出がいっぱい詰



まった品物です。皆様方のお家にもあると思います。いかがでしょうか？そのままにしておくのはもったいない、そんな気持ちが私たちをこの活動に駆り立てました。「捨てないで、生れ変って、また役に立つ」を活動テーマとして、3年前に12人の仲間です。今では30人以上にメンバーが増え、毎週1回集まって制作を楽しんでいます。

作品の一例をご紹介します。

● 和服や洋服などの衣類（私たちが着ているものはいずれもリメイクしたものです）

● バッグ、帽子、小物類など

活動を始めて3年になりますが、これまでに作った品数は数百点にも及んでいます。

これらの作品をバザー等で販売し、収益金から制作にかかった最低限の材料費を



引いた金額を、昨年と今年、東日本大震災の被災地に寄付しました。

生物多様性って何？ 種の多様性とは

様々な生きものは、地球の大きな胎動の中で多様な変化にさらされながら、培われてきました。地域で育まれた生きものと生きものとのつながりは、様々な変化に対して、その関係が「変われる力」をもっていることを意味します。

前号で生物多様性の変異性が大事なことを書きましたが、変異性の英語は"variability"で、これは「vary(変わる)+ability(力を持つ)」という言葉となります。

「変われる力」を持ったいろいろな種類がいることを「種の多様性が高い」と言います。

「種」とは、そこに含まれる個体としか遺伝子を自由に交換しない「繁殖上の単位」です。同じ種の個体はその形、体色、習性、行動など独自の特徴を保っています。種の祖先を同じくしながらも、長い時間の経過の中でさまざまな偶然に遭遇し、他の生きものと食う・食われるの関係や種内の競争や共生、寄生などの関わりによって、その姿形、生き方を変化させ、分かれたかけがいのないものなのです。



静岡県天城湯ヶ島町
荒原の棚田

日本の棚田百選より

<http://www.tamano.or.jp/usr/sumiyosi/sub10.html>

世界には、様々な動物・植物が生息・生育しています。現在、未知のものも含めると約3,000万種の生物が地球上に存在していると言われていています。

ちょっとイメージするのが難しいので、身近な田んぼを見てみましょう。「田んぼの生物多様性指標・企画委員会」の調査結果によれば、田んぼには5,668種の生きものがいるということです。特に多かったのは植物の2,075種、そして昆虫の1,726種でした。

様々な生きものの織りなす田んぼは「変われる力」を保っているアジアの代表的な種の多様性が高い地域なのです。伝統的な知恵や伝承によって受け継がれた田畑や棚田は、現在「環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)」の脅威にさらされています。第一次産業が衰退するということは、日本の種の多様性が損失することにつながります。



宮城県大崎市田尻の蕪栗沼のマガン

<http://blogs.yahoo.co.jp/oshi-non777/1170039.html>

草刈秀紀氏

(「野生生物と社会」学会フォーラム誌編集委員)

緑のカーテンで猛暑の夏を乗り切りました



5月12日に開催した講座「今年こそ緑のカーテンを作ろう」では、講座の前半に育成環境、適温、用土、肥料等の解説を、後半は種を蒔くところまでの実習で、実際の緑のカーテン作りは各家庭で行っていただくという講座でした。

講座を受講された横地様から、緑のカーテンの写真とともに、出来栄をお知らせ頂きました。

『葉っぱが小さ目で隙間がたくさんありますが、なかなか上手にできたと思います。朝顔の花もきれいだし、小さいですがゴーヤも収穫できるようになりました。初ゴーヤは昨日サラダにしておいしく頂きました。夏本番、どちらもまだまだ楽しめそうです。講座に参加できてよかったです。ありがとうございました。』

品川区環境情報活動センター 講座ご案内

●世界の巨木を訪ねて知る自然の神秘

(中学生以上・一般)

写真の中で世界を旅しながら、森林と人や生き物とのかかわりの不思議を感じていただきます。

日時/10月26日(土)14時~16時

講師/吉田繁氏(写真家)



●どんぐりカレンダーを作ろう (小学生と保護者)

どんぐりを利用して、カレンダーを作ります。お気に入りの布や木の切れ端で自分だけの楽しい作品に仕上げます。

日時/11月10日(日)14時~16時

講師/門倉誠氏、池上景子氏

(㈱アズビル教育担当)



●LEDの灯籠(とうろう)作り

(中学生以上・一般)

灯籠の枠は段ボール、8つの面は画用紙、灯りはLEDです。また家庭のエコな照明についての工夫もご紹介します。

日時/11月16日(土)14時~16時

講師/小野文義氏、辻本喜律氏(東京サラヤ㈱)



●富士山の大自然を守ろう

(小学生高学年以上・一般)

世界文化遺産に登録された富士山には世界から人が集まります。富士山の美しい姿を写真を通して見ながら、環境を守るために、私たちに出来ることを考えます。

日時/11月24日(日)14時~16時

講師/外川英樹氏(写真家)



●ゴムのおもしろ実験 (小学生と保護者)

「環境に優しい」とも言われているゴムの木についてのお話と、輪ゴムやゴム風船などを使って楽しい実験をします。

お湯をかけると上下するペットボトル⇒

日時/12月1日(日)14時~16時

講師/久保利加子氏

((独)科学技術振興機構:理科大好きボランティア講師)



●端切れ布で作るクリスマスリース

(中学生以上・一般)

新聞で作った台に布の端切れを詰め込んで世界にひとつのクリスマスリースを作ります。

日時/12月8日(日)14時~16時

講師/竹中信子氏(リサイクルアート作家)



●【園芸講座】正月の寄せ植え

(中学生以上・一般)

植物の魅力、特徴、育成を解説し、梅に笹、ヤブコウジなど季節の草花を添えて、お正月の寄せ植えをします。

日時/12月13日(金)13時半~15時半

講師/金子興一氏(山草会会員)



★平成26年1~3月の講座

- ・エコ素材で'バスボム'(入浴剤)を作ろう(2月)
- ・江戸時代の仏像~エコに徹した仏像づくり/話(2月)
- ・【園芸講座】春の寄せ植え(3月)
- ・気象予報士から学ぼう(3月)

講座の名称、開催日、内容などはいずれも予定です。応募方法等については「広報しながわ」や品川区環境情報活動センターのホームページに掲載します。

しながわECOだより 2013年度Vol.2

発行:品川区都市環境事業部環境課

編集:特定非営利活動法人
エコタウンしながわ

発行日:平成25年9月18日

住所:〒140-8715

品川区広町2-1-36

品川区環境情報活動センター内

TEL/FAX:03-5742-6533

E-mail:center@shinagawa-eco.jp

HP:http://shinagawa-eco.jp/

本紙は、古紙を配合した用紙で作成しています。